

電信課長

大臣

次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
人文
人事
文書
會計

寫送先

昭和6-10247 略

北平 本省

三十日 七月三十日後着

亞、通

幣原外務大臣

矢野參事官

第三二一號
往電第三一〇號ニ關シ

二十七日、反日委員會ハ各機關學校団体等ノ在鮮華僑救濟金及反日會經濟費ノ分擔額ヲ決定スルト共ニ左ノ如キ中日經濟絶交辦法ヲ決議セリ
一 日貨ニシテ(イ)注文濟ノモノハ取消スコト(ロ)注文セルモ未タ輸入セラレサルモノハ輸送ヲ停止スルコト(ハ)在庫中ニテ未タ代金ヲ支拂ハサルモノハ之ヲ引出ササルコト(ニ)既ニ引取リタルモノニ付テハ先

外務省

心算山場書記
林台

0423

1114

S 1.1.1.0-7

0424

1115

S 1.1.1.0-7

ツ登記シ當分發賣セサルコトトシ日貨處置辦法ハ新聞ニ登載各界ニ通達ス
ニ經濟絶交執行期間ニ付テハ常務委員會ニ於テ決定シ本會ニ付附議ス他方北平商會ハ二十八日臨時大會ヲ開催シ經濟絶交委員ニ代表ヲ派遣シ日貨ノ調査登記事項ニ關シ往年ノ如キ弊害無キ様提議セシムルコトヲ決議セル由
尙二十九日ハ反日會ノ決議ニ從ヒ全市半旗ヲ掲揚シ又娛樂機關ハ休業セリ
支、南京、天津、奉天へ轉電セリ

外務省

REEL No. A-0059

アジア歴史資料センター

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和6-10265 暗

蘇州 三十日後發
本省 七月三十日後着

幣原外務大臣

川南領事代理

亞、通

第一三號
往電第一〇號ニ關シ

今日迄沈黙ヲ守リ居リタル黨部ニ於テモ商會側ノ行動ニ促サレタル
ニヤ遽ニ吳縣各界反日援僑委員會ナルモノヲ組織シ二十九日第一次
委員會ヲ開キタルカ右委員ハ當地各商業團體及大會ノ有力者ヲ網羅
シ宣傳、検査、糾察、登記等ノ各部署ニ分レ積極的行動ヲ取ルコト
トナリ之ニ要スル經費ハ各團體ニ於テ毎月分擔醸出スルコトニ決セ
リ又管内無錫縣ニ於テモ商業團體結束シ日貨抵制ヲ申合セ日貨検査

外務省

隊ヲ組織セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
轉電先往電第一二號ノ通

外務省

S 1.1.1.0-7

1117

0426

S 1.1.1.0-7

1116

0425

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

1.1.1.0-7

閣下發在新加坡總領事代理宛電報第一六號ニ關シ
地華僑ノ動搖ニ關シ絶ヘス注意ヲ拂ヒ居ル處朝鮮事件ノ電報ニ接
シ感情ヲ刺戟セラレ居ルコトハ免カレサルヘキモ現在ノ處全然「ボ
イコット」ノ氣勢ナシ但シ現下ノ經濟界不況ニ依リ華商カ手持ノ「
ストック」ヲ有利ニ處分センカ爲本件ヲ利用セントスルノ虞ナキニ
非ラサルモ萬一ノ場合ハ當地ニ於ケル邦人華商間ノ緊密ナル關係ヲ
利用シ且過日本邦觀光ヨリ歸來シタル華商一行モ適當ニ利用シ得ラ

第五六號

幣原外務大臣

昭和6 一〇二五二

暗

本 省

七月三十日後着

通二

三宅總領事

外務省

8 1.1.1.0-7

1119

0428

記

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

分類

當地反日狀況ハ林司令ヨリ隨時貴地省政府ニ報告シ居ルモ未タ特ニ
取締方訓令ヲ受ケ居ラサルヤニ見受ケラル、節モアリ且本官發大臣
宛電報第五六號ノ次第モアリ旁越軌行動取締方訓令アル様省政府ニ
今一應御交渉方御配慮相煩ハシ度シ
支、大臣へ轉電セリ

第五七號

幣原外務大臣

昭和6 一〇二七四

暗

本 省

七月三十日後着

亞、通

寺島領事

外務省

8 1.1.1.0-7

1118

0427

寫送先

會文人情條通歐
計書事化報約商米

亞細亞

次官
大臣

電信課長

亞細亞局長

(至急親展)

本日本府ニ於テ今回ノ鮮支人事件ノ支那人死者七月三十日現在累計
一一九名トナリタルコトヲ新聞紙ニ發表セリ此外支那人負傷者一九
五名鮮人死者三名負傷者三三名警察官負傷者八七名アルモ平壤ニ於
テ多數ノ支那人カ大同江ニ投入サレ行方不明トナリタルカ如キ風評
ハ全然事實無根ナリ

昭和6 一〇二三八 平

朝鮮總督府
本省

七月三十日後着

亞

警務局長

記録係

外務省

S 1.1.1.0-7

1121

0430

ルル見込ニ付當地ニ關スル限り今後重大ナル事態ヲ惹起スルニ至ラ
サルヘシト存ス
「スラバヤ」「メダン」へ暗送セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1120

0429

寫送先

大臣 電信課長 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

次官

電信課長

幣原外務大臣

昭和6 一〇二六三 略

上海 三十日後發
本省 七月三十日後着

亞通

村井總領事

在電第三六三號末段「フエツセンデン」ノ談話ニ關シ俄然中國側各

方面ヨリ反對ノ聲起リ第三區黨部ハ五卅事件等過去ノ事實ニ徵スル

モ日英兩國主義者カ同穴ノ貉ナル事明白ナレハ吾人ハ「フエ」カ

速ニ悔悟シテ其非ヲ改メサレハ排日ノ矛ヲ排英ニ轉シテ之ヲ糾正ス

ヘシトノ宣言ヲ發シ支那人同業組合廿一團體ハ聯合ヲ以テ略同様趣

旨ノ警告文ヲ「フエ」ニ送リタル趣ナルカ三十日ノ時事新聞亦本問

外務省

8 1.1.1.0-7

1123

0432

寫送先

大臣 電信課長 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

次官

電信課長

幣原外務大臣

昭和6 一〇二八八 暗

赤峰 三十日後發
本省 七月三十日前着

亞

牟田事務代理

赤峰 第二號

朝鮮事件ニ關シ當地方ハ頗ル平穩ナルカ有識者ハ何レモ支那新聞(益
世報九分ヲ占ム)ノ誇大ナル記事ヲ信シ憤慨シ居レリ尙當地縣知事
ノ語ル所ニ依レハ兩三日前中央政府ヨリ新聞記事ヲ信シ輕舉妄動セ
サル様取締ルヘシトノ命令ニ接セリト云フ
支、北平、奉天へ轉電セリ

外務省

8 1.1.1.0-7

1122

0431

外務省

支へ轉報セリ

S 1.1.1.0-7

1125

0434

外務省

貨運動ニ干渉シ其權威ヲ以テ之ヲ彈壓セントスルハ帝國主義ノ發露ニシテ侮辱モ甚タシキモノナルカ一般民衆亦大イニ反省ノ要アルヘク國民カ帝國主義侵略ノ防止ニ排貨ノ必要ナル所以ヲ眞ニ自覺シ目前ノ小利ニ溺ルルヲ眞マハ検査抑留ノ必要ナク工部局ノ取締モ發生セサルヘク從テ其侮辱ハ民衆自ラ招キタルモノト云フヘク又反日會側ニ於テモ「平和且有效」ナル方法ニ着眼シ本末ヲ誤ル事アルヘカラス検査抑留ノ如キ末事ニ吸々トシテ平和ヲ破リ直接衝突ヲ惹起スルカ如キハ成功ノ途ニ非ス要ハ唯國民全體ヲシテ「排日貨ハ即チ道徳ナリ」トノ普遍的信念ヲ體得セシムルニアルヘシ云々ト論シ居レリ

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、福州、廣東、香港へ轉電シ

S 1.1.1.0-7

1124

0433

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6(一〇二六二)略

上海 本省

七月三十日後着

亞通

幣原外務大臣

村井總領事

第三七三號

往電第三二四號ニ關シ

反日援僑會執行委員會ハ廿九日午後市商會内ニ開會日貨處置辦法ニ付諮議ノ結果左ノ通議決シタル趣ナリ

(一)七月十四日以前ニ代金ヲ支拂ヒ仕入レタル物

(イ)八月六日迄ニ登記シ反日會ヨリ證明書ヲ貰ヒ受ケ發賣ス(料金不要)

(ロ)右手續ヲ經ス發賣シタル者ニ對シテハ援僑救濟金一割ヲ徵シ登

外務省

S 1.1.1.0-7

1126

0435

記ヲ爲サシム

(一)七月十四日以後同廿四日以前ニ代金ヲ支拂ヒ仕入レタル物

(イ)登記期間内ニ登記スルヲ要ス其際救濟金一割ヲ徵シ證明書ヲ發給ス

(ロ)右手續ヲ經ス發賣シタル者ニ對シテハ救濟金二割ヲ徵シ登記ヲ爲サシム

(三)七月廿四日以後ニ仕入レタル物總テ沒收シ公用ニ宛ツ

(四)登記済ノ日貨ハ各同業公會ニ於テ指定倉庫ニ保管シ反日會都市商會ニ申告シ立會ノ上貨物表裝上ニ捺印スルモノトス

北平、天津、奉天、青島、濟南、漢口、南京、福州、廣東、香港へ轉電シ、支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1127

0436

電信課長

大臣

次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

昭和6 一〇二六一 暗 上海 三十日後發 亞、通

幣原外務大臣 村井總領事

第三七四號
往電第三四〇號ニ關シ

三十日日本官再ヒ張市長ヲ往訪往電第三七〇號ノ件ニ付嚴重抗議スル
ト同時ニ之等貨物ハ公安局ノ盡力ニ依リ釋放セラルルコトナリタ
ルハ幸ナルモ唯一時其保管ヲ託セラレタル倉庫業者ハ保管料ヲ請求
シ之ヲ支拂ハサレハ引渡サスト言ヒ居ル由ナルカ我方トシテ不法抑
留ニ對シ損害賠償ヲ請求セントサヘ考ヘ居ル矢先保管料ヲ請求セラ
ルルカ如キハ以テノ外ニシテ右倉庫業者ト排日會トハ共謀シ斯カル

外務省

0437

1128

S 1.1.1.0-7

0438

1129

S 1.1.1.0-7

コトヲ爲シ居ルモノト思ハルルニ付右保管料ヲ請求セシメサル様取
計方要求シタルニ張ハ之ヲ應諾シタルニ付本官ハ更ニ本官トシテハ
排日貨運動全部ニ對シ抗議シ其取締ヲ要求セサルヲ得サル次第ナル
カ殊ニ昨今頻發スル不法抑留ノ如キハ強盜行爲ニシテ官憲ニ於テ之
ヲ放任スルカ如キハ中國カ法治國ニ非サルヲ天下ニ公表スルニ等シ
ク貴國ノ爲ニモ執ラサル處ナレハ獨リ日本人ト言ハス一般的ニ之ヲ
禁遏セラレタシト述ヘタル處張ハ反日大會ハ租界内ニテ行ハレタル
爲我方ニテ手ヲ下スコトヲ得ス其決議ノ如キモ直クニハ知レサリシ
如キ始末ナルカ愈斯カル不法行爲ヲ爲ス事明カトナリタルニ付日本
人ニ對シテノミナラス一般ニ嚴重之ヲ取締ルコトトシ部下ニモ既ニ
訓示シアルニ付御安心アリタシト答ヘタリ尙往電第三六八號三十日

外務省

寫送先

大臣
次官
電信課長
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

開カルル市民大會ニ付テモ取締方ヲ申入置キタリ
北平、天津、奉天、吉林、哈爾濱、間島、青島、濟南、南京、漢口
廣東へ轉電シ代理公使へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1130 0439

昭和6 一〇二七六 暗 上海 三十日後發 亞通
本省 七月卅一日前着

幣原外務大臣 村井總領事

第三七五號

往電第三七〇號ニ關シ

市政府並ニ公安局ト交渉ノ結果反日會ハ漸ク公安局ノ即時釋放ノ命
令(ニ)從ヒ本件抑留貨物全部ノ釋放ヲ肯シタルニ依リ貨物引取
ニ赴キタルニ貨物ヲ一時保管セル倉庫業者(反日會ト共謀セルモノ
ト認メラル)ノ格外ノ庫敷料ト積込積卸料金ノ支拂ヲ強要シ之ヲ現
金ニテ支拂ハサレハ荷渡セスト頑張り廿九日夜ニ至ル迄現場ニ於テ
交渉セルモ右ニ付テハ反日會ハ關係無シトテ埒明カス依テ三十日午

外務省

S 1.1.1.0-7 1131 0440

前往電第三七四號ノ通市長ニ交渉シ又館員ヲシテ公安局長ニ交渉セシメタル結果官憲側ハ我方主張ヲ是認シ現場ニ更ニ巡警ヲ派シ必要ノ措置ヲ執ル事トナリタル處一方會社側ニ於テハ時節柄本件貨物ノ船積ヲ急キ居リシト此上官憲ノ力ヲ以テ強制スルニ於テハ現場ニ於ケル苦力等ノ直接妨害行爲ニ依リ損失ヲ愈倍加スルノ虞アルヘキ事ヲ懸念セルトニ依リ倉庫業者トノ間ニ話合ヲ附ケ全部ノ貨物ニ對シ倉敷料及苦力賃共合計銀三百五十六元六十仙(通常ノ料金ヨリ稍高價ナリ)ヲ支拂ヒ三十日午前中ニ貨物ノ引取ヲ了シタル次第ナリ保管料支拂強要ハ反日會ノ常套手段ニシテ之ニ依リ利ヲ得ント計レル事當初ヨリ判明シ居リタルニ付此點交渉ニ際シ充分念ヲ押シタル次第ナリシモ右様ノ次第ニテ遂ニ支拂ヲ餘儀無クセラルルニ至レリ此

外務省

S 1.1.1.0-7 1132 0441

損害ニ對シテハ別ニ賠償要求交渉ヲ提起スル筈
北平、天津、奉天、吉林、哈爾濱、間島、南京、濟南、漢口、廣東
へ轉電シ、支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1133 0442

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6-10272 暗

漢口 本省

七月三十日後着

亞、通

幣原外務大臣

坂根總領事

第五〇〇號

往電第四九四號ニ關シ

廿九日「セントラルチャイナポスト」ハ上海總商會ニ於ケル處治

卿ノ排貨演說ニ關スル漢字新聞ノ記事ヲ譯載シタル上別ニ A dangerous-

as situationト題スル社説ニ於テ處ノ無責任ナル言動並ニ日貨排斥運

動ノ擧ニ當レルモノノ橫暴振ヲ攻撃シ國民政府ノ無爲無力ヲ痛論セ

リ其要旨左ノ如シ

不幸ニシテ「フイータム」判事ハ萬寶山事件ノ發生前ニ其報告書ヲ

外務省

S 1.1.1.0-7

1134

0443

完成シ既ニ中國ヲ去リタルカ若シ彼ニシテ今次ノ日貨排斥騒キヲ目撃シタラムニハ上海ノ市政ニ外人カ中國人ト提携スルコトノ危険ナル點ニ付好個ノ調査材料ヲ得タルヘシ現在上海ニ於テ行ハレツツアル日貨排斥運動トテモ前回漢口ニ於テ行ハレタルモノノ實例ニ徴シ經濟絶交委員ニ對スル賄賂ト妥協ニ依リ自由ニ日貨ノ通行證ヲ入手シ得ヘク將又方法ニ依リテハ日本品ノ輸送モ敢テ不可能ニ非サルヘク結局ハ兎ニ角黨一味ノモノカ善良ナル商人ニ對シ愛國ノ押賣ヲ爲シテ不法ノ利ヲ貪ルニ過キサレヘキハ想像ニ難カラサル處ナリ漢口ニ於ケル商人トテモ之迄ノ苦々シキ體驗ニ鑑ミ容易ニ之等徒輩ノ宣傳ニ乘リ籠絡セラレ、コトナカルヘク當地ノ關スル限り何等カノ權力ヲ以テ強制スルニ非サレハ對日經濟絶交ノ實行ハ不可能ナルヘシ

外務省

S 1.1.1.0-7

1135

0444

尙中國人ノ輿望ヲ帶ヒテ上海市參事會員ノ重職ニ就ケル虞氏ノ言動
ハ中國人ニ依リ上海市參事會ノ意見ト看做サル、コトアルヘク別項
掲載ノ如キ本人ノ廣言ハ同僚タル日本人委員ニ對シ非禮ナルト同時
ニ同僚外國人委員ノ等シク恥辱トスル處タルヘク何人ト雖斯ル人物
ト共ニ市政ノ樞機ニ參劃セサルヲ得サル外國人委員ニ同情ヲ禁セサ
ルヘキ處萬一虞氏ノ煽動ニ依リ日貨ノ糾察實行セラレンカ當ニ警察
取締上徒ラニ手數ヲ掛クルニ止マラス海關側トシテモ立場上甚々當
惑スルニ至ルヘシ尙又上海總商會ノ如キ外國人機關ヲ背景トシテ虞
氏カ演說スルニ當リ忠良類ナキ日本國民並ニ正當ニ日本品ヲ取扱フ
自國商人ヲ敵視スルカ如キ言ヲ吐露セルハ愈以テ狂氣ノ沙汰ト言フ
ヘク萬寶山事件カ中國人ノ非ニ依リテ生シタル不祥事故ニ過キサル

0445

S 1.1.1.0-7 1136

外務省

ノ事實ハ何等對日經濟絕交委員ノ念頭ニナク彼等ハ單ニ團體ノ力ヲ
以テ他人ノ財産ヲ私スルノミニ吸々タルモノニシテ之正シク國民黨
ヲ世界的ニ有名ナラシメタル所以ナリ國民政府カ斯クノ如キ病的狀
態ニ沈淪シ之等徒輩ニ比スレハ遙ニ正直ナル匪賊ヲ斬首ノ刑ニ處シ
乍ラ彼等ノ專恣ナル行動ヲ抑壓スルコト能ハサル程無力ナルハ憐ム
ヘシ云々(原文郵報)

公使ヨリ上海へ奉天ヨリ哈爾濱、吉林、長春へ轉報アリタシ
冒頭往電ノ通り轉電暗送セリ

0446

S 1.1.1.0-7 1137

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和6 一〇二七五 暗

厦門 三十日後發
本省 七月三十日後着

通

幣原外務大臣

寺島領事

第五八號

往電第五六號末段ニ關シ

買手側ト反日會トノ交渉纏リ無事荷揚ヲ了セリ司令部側ニ於テハ反

(日)委員ト折衝積極行動ニ出テサル様注意シ居ルモ上海方面ヨリ

ノ影響ヲ受ケ強硬ノ態度ヲ持シ居ル趣ナルカ今後ノ分ニ付嚴重取締

方申入置タリ

大臣ヨリ臺灣總督馬公要港部へ轉報アリタシ

支ヨリ南京、上海へ轉報アリタシ

外務省

0447 (記)

1138

S 1.1.1.0-7

支、福州へ轉電セリ

外務省

0448

S 1.1.1.0-7 1139

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和6 一〇二七三

暗

青島 本省

七月三十日後發

亞、通

幣原外務大臣

第一七九號

朝鮮問題其後ノ狀況左ノ如シ

新聞紙ハ尙相當ニ煽動的記事ヲ掲ケ居レルモ左迄民衆ノ興味ヲ唆ラサル爲稍腰折ノ態ナリ

ニ黨部ハ豫テヨリノ計畫ニ從ヒ本三十日齊燕會館ニ於テ各界反日援僑大會ヲ開催シ「日本ハ華僑保護ノ實力無シ朝鮮ニ出兵シテ現地保護ヲ實行スヘシ日本帝國主義打倒ハ自ラヲ救フ唯一ノ途ナリ永久經濟絶交スヘシ」等過激ナル言辭ヲ以テ民衆ノ敵愾心喚起ニ努メタル

外務省

S 1.1.1.0-7

1140

0449

モ來會者僅ニ四百内外大シテ氣勢舉ラス十二時過散會セリ市中異狀無シ

ニ市黨部ハ將來ノ幸福ノ手紙ニ擬ヘ救國連索ナルモノヲ發行セルカ右ハ紙片ニ一、日貨ヲ買ハスニ、日本人ニ貨物ヲ賣ラス三、日本人ノ爲ニ働カストノ三項目ヲ記シ且本信ヲ受取リタル者ハ二十四時間内ニ九人ノ知人ニ分送スヘク然ラサル者ハ賣國奴タルニ甘ンスルモノナリ云々ト書添ヘタルモノナリ 支、南京、北平、濟南へ轉電セリ

S 1.1.1.0-7

1141

0450

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和6 一〇二五六 暗 齊々哈爾 本 省 七月三十日後着 亞

幣原外務大臣

第三四號

郷家屯發奉天宛電報第一一號前段ニ關シ

屯墾公司設立以來同公司ハ勿論奉天官憲ニ於テ日本人ノ洮索線方面ニ入ルヲ非常ニ警戒シ洮索鐵道ノ如キハ日本人ノ乗車ヲ拒絕シ居ル趣ナリ又當地交渉員ハ本官ニ對シ奉天ヨリ日本人ノ入蒙(脱)スル者ナキヤ警戒方度々訓令ニ接スル旨數回内話セルコトアリ右ハ屯墾公司カ蒙古王族ノ土地ヲ強制的ニ取上ケ居ルト王族ノ日本側ニ接近セントスル傾向アルトニ依リ日本人カ王族ニ入智恵ヲ爲シ

外務省

S 1.1.1.0-7 1142

0451

又ハ王族カ土地其他ヲ擔保ニ借款シ公司ノ事業ニ支障ヲ來シ若ハ利權ノ外逸ヲ來スコトヲ恐ル、ニ出ツルモノニアラスヤト察セラル、節アリ御參考迄 奉天、哈爾賓、郷家屯、長春へ暗送セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1143

0452

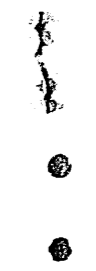


秘

陸自文
電報

昭和六年七月三日
上海公使館附置

南島報(二十日号)
降雨、省一時気勢衰へし当地反日援僑會
ハ明平九日夜反日宣傳及日貨抵制工作ヲ實
施スルニトシテ、当地排日ノ裏面ニ胡漢民
一派ノ政府苛大策カ作用アリト説アリ
周東、北平、天津、濟南等々



秘

0453

S 1.1.1.0-7 1144

朝報

六七、三〇、一八三〇、
無線 球磨齋(九七五)

在青島藤原武官



0454

外務省

次官(二遺司令官)
次長(馬要司令官)
第三三番電

朝鮮事件ニ関シ本三十日午前十時當地各階代表
約三百名集リテ反日援僑準備大會ヲ開キ排日運動
具体化ノ決議ヲ為シタルガ氣勢頗ル揚ラズ尚事件
以來支那側官民ノ態度ニ照ラレ當地邦人ハ大ナル反響
ヲ豫想シ居ラズ一般ニ樂觀シアル模様ナリ又従来ヨリ
多少懸念サレツアリシ紡績方面モ今ノ所平穩裡ニ
繰業ヲ續ケ居レリ

三十日

S 1.1.1.0-7 1145

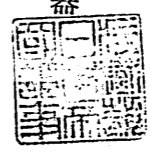
監細監屬

公信第三五五號

昭和六年七月三十日

在 鐵 嶺

領事代理 石塚 邦 器



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

法庫縣ニ於ケル日貨排斥宣傳ニ關スル件

法庫門出張所松本巡查ノ報告ニ依レハ本月二十五日法庫門市内數ヶ所ニ左記譯文ノ如ク長サ九寸巾七寸ノ白紙ニ記サレタル日貨排斥宣傳「ピラ」揭示シアリタル趣ナリ

記

(分類 A11.1.0.20-2)

在鐵嶺日本領事館

高宇山農務局
排日會
昭和六年八月七日 姜受 B

記

0455

1146

S 1.1.1.0-7

國貨提唱一諸君ノ一考ヲ請フ

金融ハ如何ニシテ逼迫シ金錢ハ何故ニ失ハレタルヤ、諸君カ天津上海、廣東、澳門ニ行ケハ知ル如ク金錢ハ皆外人之ヲ國外ニ搬出シタルカ爲ナリ入港汽船ニ搭載スルモノハ日用品、化粧品、家庭用玩具ニ至ル迄凡テ外國品ナリ外國品ハ品質粗惡ニシテ價格高シ我國產貨物ハ安價ニシテ利ナリ、敢ヘテ敵貨ヲ用フ必要ナン日本品ヲ買フヘカラス日本ハ敵國ナリ、萬寶山事件發生以來各團體全部蹶起反對セリ日本ノ鐵道交渉要求ニモ應スヘカラス

遼寧國民常識工作一中促進會民團宣傳部

本信寫送附先 在中華民國代理公使 在北平主席

奉天總領事 南京領事

在鐵嶺日本領事館

0456

1147

S 1.1.1.0-7

REEL No. A-0059

アジア歴史資料センター

在鐵嶺日本領事館

民國宣傳部

S 1.1.1.0-7

1149

0458

請 宣 傳 請 保 存

提倡國貨

第三號

同胞們你們大家想々錢怎麼那緊呢錢都沒有拉你們到過天津、上海、廣東、漢口、就知道拉金錢都叫別人運去了看々輪船所載的都是洋貨什麼日用品、化粧品家屋之玩具以及各種器具物質不良價質太貴現在金貴銀賤將本國之金錢皆被人家用輪船滿載而歸回國作些銃砲又來侵害我國總不如買本國各種物品又便宜又賤何必用仇敵之貨大家請想一想罷

但各種用意就是不買東洋製造的東西現在日之爲仇國緣因吉林萬寶山之案件發生以來遼寧各法團均起反對之心並有東北之鐵路交涉借款種々

遼寧國民常識工作中促進會

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-7

1148

0457

詳細監局

機密第二五七號

昭和六年七月三十日

在局子街 副領事 田 中



外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

中國側ノ排日檄文押收ニ關スル件

中國官憲ハ萬、鮮兩案發生以來當地排日團體筋ノ策動取締ニ就キ相當
注意シ居ルモノノ如ク當地郵局ハ本月二十二日吉林萬案討究委員會發
延邊農工商學聯合會宛左記要旨ノ檄文約三百枚郵送シ來リタルヲ發見
直ニ押收ノ上縣公安局ニ送致セル趣ナリ

記

(分類 A.1.1.0.20-2)

昭和六年八月七日 接受

B11

記

0459

S 1.1.1.0-7

1150

B11

0460

萬寶山事件ニ因ル鮮内ニ於ケル排華不祥事件ハ日本カ鮮人ヲ使嫉操縱
シ中韓惡感情ヲ誘發シテ中國ニ於ケル報復的擾亂ヲ惹起セシメ其機ニ
乘シ多年ノ宿志ヲ遂ケントスル陰謀ニ基クモノニシテ其憎惡ノ念禁ス
ル能ハサルモノアリ茲ニ中韓兩民族團結シテ此ノ欺騙ヲ糺彈シ共同奮
闘シ以テ日本帝國主義打倒ヲ期セヨ

我等ノ口號

- 一 日本ノ萬寶山事件干涉ニ反對セヨ
- 一 萬寶山ニ居住スル韓農ヲ驅逐セヨ
- 一 中韓兩民族聯合シテ起テ
- 一 日本貨物ヲ排斥セヨ
- 一 打倒日本帝國主義

S 1.1.1.0-7

1151

情報印

(1.1.1.0.21-2)

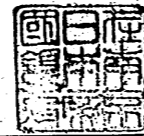
亞細亞局
普通送第五六六號

昭和六年七月三十日

在南京

領事

上村 伸 一



別紙添付

外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

樓桐孫ノ演說報告ノ件

立法院委員南京市黨部執行委員タル樓桐孫ハ七月二十日市黨部紀念週ニ於テ「如何ニシテ日本帝國主義ヲ打倒スヘキカ」ナル題下ニ別添ノ如キ演說ヲ爲シタル趣ナルカ其論旨ハ一般中國人ノ抱懷セル思想ヲ代表シ居ルモノ、如クナルニ付御參考迄譯報ス御査閱相成度

在南京日本領事館

S. 1.1.1.0-7

1153

0462

日本工場雇傭中鮮人職工同盟罷業ヲ斷行セヨ
日本滿蒙開拓主義ニ反對シ國土ヲ保全セヨ
右報告ス

本信寫送付先

在華公使、北平首席
間島、奉天、吉林、南京、頭道溝、琿春、百草溝

S. 1.1.1.0-7

1152

0461

B11

REEL No. A-0059

アジア歴史資料センター

本信寫送付先 公使 上海 北平 奉天 廣東

在南京日本領事館

如何ニシテ日本帝國主義ヲ打倒スヘキカ
最近喧シキ鮮人ノ排華暴動事件ヲ論議スルニ先立チ吾人ハ外交上ニ於ケル中國ノ地位環境ヲ考察スルヲ要ス吾人ノ觀察スル所ニテハ現在中國ノ直面セル帝國主義ニ二種アリ、一ハ經濟的帝國主義ニシテ一ハ政治的帝國主義ナリ、經濟的帝國主義ハ英米兩國ヲ其代表トス彼等ノ目的トスル處ハ中國ノ市場ヲ奪取シ中國ノ原料ヲ獨占シ中國ヲシテ彼等ノ生産過剰品ノ消費市場タラシメントスルニ在リ故ニ英米ハ常ニ經濟的利益ノ擁護ヲ叫ビ政治及領土の侵略ニ對シテハ比較的冷淡ナリ即チ彼等ノ目的ハ經濟ニ在リ政治關係ハ其ノ附屬物ト見ルヲ得ヘシ。政治的帝國主義ハ日本及露國ヲ其代表トス中國ノ歴史ヲ鑑ミルニ古來中國ノ憂患ハ東隣ノ日本ト西北ノ露國トニアリ、露國ハ赤化ノ理心ヲ實現

S 1.1.1.0-7

1155

0464

S 1.1.1.0-7

1154

0463

REEL No. A-0059

0095

アジア歴史資料センター

セントスルモ歐洲各國ハ政治的社會的組織良好ナルヲ以テ其目的ヲ達シ難キニ依リ其銳鋒ヲ亞細亞ニ轉セサルヲ得ス遂ニ中國ヲ侵犯スルニ至レリ。中國ハ古キ文化ヲ有スルト雖近來思想、政治、經濟共ニ甚シキ混亂ニ陥リ民族意識未タ發達セサルヲ以テ赤露ノ魔手侵入スル處トナリ外蒙ハ已ニ共產黨ノ同化ヲ受ケ東支鐵道沿線各地ハ赤露ノ中國ニ對スル赤化大本營トナリ同時ニ無智ナル中國共產黨ハ之ニ共應シテ其勢力ノ伸張ヲ助ケツ、アリ。次ニ日本ハ國土接近ノ關係上中國ヲ攪亂スルコト歐米ノ如何ナル國ヨリモ容易ニシテ萬寶山、朝鮮事件ノ如キモ其例ニシテ斯ノ如キ事例ハ枚舉ニ遑アラサル程ナリ、又最近ハ北方ニ種々ノ謠言アリ廣東問題未解決ノ時ニ際シ若シ石友三ニシテ日本ノ援助ヲ受ケテ背反シ東北ニ進攻センカ東北ハ日本ノ有ニ歸セン。石友

1156

6 1.1.1.0-7

0465

三八固ヨリ獨自ニシテ斯ル實力無キニ付若シ謠言ニシテ眞ナリトセハ日本ノ居心ニ依ルモノト云フ外無シ、斯ノ如ク日本ハ中國ノ最モ恐ルヘキ敵人ニシテ革命軍北伐以來中國ヲ攪亂シタル事露國以上ナリト云フヘシ。露國ハ共產黨ヲ利用シテ盛ニ殺人放火ヲ行ヒ數年ノ間ニ全中國ヲ恐怖世界ト化セシメタリト雖中國人ニシテ兇惡ナル共產主義ヲ眞面目ニ信仰シ之カ爲ニ水火ヲ辭セサルモノ果シテ幾人アリヤ疑ナキ能ハス。想フニ中國ノ政治不良ニシテ人民ノ生活困窮セル爲失業無賴ノ無智識分子カ露國共產黨ノ使喚ヲ受ケテ現在江西湖南ノ現狀ヲ演出シタルモノニシテ中國ノ政治及人心カ今日ノ如クナル以上例ヘ「マルクス」「レニン」及露國共產黨存在セスト雖中國ノ攪亂ハ所詮免レサル處ナリ、只共產黨ニ非スシテ土匪タルノ相違アルニ過キス。歴史上ヨ

6 1.1.1.0-7

1156-1

0466

リ之ヲ見ルモ政治不良ナレハ貧官汚吏横行シ東盜西匪跋躐スルコト歴朝殆ント異ナルコトナシ。此レ恰モ身体ニ例フレハ神經衰弱ニ罹リ血液循環不良トナレハ自然病氣ヲ誘發スルカ如キモノニシテ中國數千年來ノ文化モ現在ニ至リ種々ノ方面ヨリ混亂ヲ來シタル爲共産黨ハ此機ニ乘シテ攪亂ヲナシタルモノニシテ其病根ハ寧ロ内ニアリテ外ニナシ内部ヲ整フレハ共匪ハ自然跋躐スル能ハサルニ至ルヘシ。然ルニ日本ハ之ト異リ相手方ノ身体如何ニ不拘故ナク打撃ヲ加ヘントシ殊ニ多病ニシテ抵抗力無能ノ時ニ乘シテ永久立ツ能ハサラシメントスルモノナリ吾人ノ注意ヲ要スル事ハ日本ハ最近已ニ一切ノ準備整ヒ只管口實ヲ求メ機ヲ見テ外ニ發動セントシ居ル事ニシテ其相手方カ米國タルト露國タルト又中國タルトヲ選フモノニ非ス、日本ノ然ル所以ハ一ニ經濟

0467

1157

B 1.1.1.0-7

的不景氣甚タシク失業者激増シ生活ハ困難ニ陥リ内争ハ激化シ智識階級ハ學生教授ニ至ル迄共産學說ニ中毒シ帝國ノ基礎ヲ動搖セントスルニ至リ居ルヲ以テ日本當局ハ不得已得極力對外問題ヲ藉リテ國內人心ノ統一ヲ計リ以テ政治ノ安定ヲ計ラント欲スルモノニシテ日本ニシテ一且東三省侵略ニ成功センカ日本國內ノ經濟問題モ又解決スルニ至ルヘキヲ以テナリ。依テ日本ハ如何ナル時如何ナル機會ヲ論セス口實アラハ直ニ發動セントスルモノニシテ萬寶山事件、韓民ノ華僑慘殺事件ノ如キモ日本ノ意圖スル滿蒙政策ノ一表現ナリト云フヘシ、此時ニ當リ吾人ハ尙茫然トシテ何等準備スル處ナケレハ彼ハ恰モ無人ノ野ヲ行クカ如ク爲サント欲シテ爲シ得サル處ナキナリ。抑々朝鮮ハ中國ト幾千年ノ歴史的關係ヲ有シ文化、風俗、習慣ヲ相同シクスルモノナル事吾

0468

1158

B 1.1.1.0-7

人ノ知ル處ナルカ日本モ又朝鮮民族ト中國民族ト同一文化ヲ有シ中國ニシテ一度興隆セハ朝鮮ハ日本ノ領有スル所ニ非ルヘキコトヲ熟知スルカ故ニ日本人ハ常ニ機會ヲ利用シテ朝鮮人ト中國人間ノ惡感ヲ挑發シテ之ヲ離間セント欲スルモノニシテ此次ノ慘殺事件ノ如キモ日本人ノ斯ル陰謀カ成功セルモノト云フヘキヲ以テ吾人ハ本件ノ元兇カ日本人ナルコトヲ明確ニ認識スルヲ要ス。之ヲ要スルニ日本ノ中國侵略ハ一朝一夕ノ企圖ニアラス、今回ノ事件ニ對スル全國民衆ノ憤慨ハ固ヨリ當然ノコトナリト雖只徒ラニ正義ヲ呼號スルモ何等益ナキヲ以テ吾人ハ先ツ地方ノ共匪ヲ肅正シ廣東ノ統一ヲ恢復シ更ニ北方反動軍閥ヲ解決シ然ル後一致外ニ向ヒ日本ノ種々ナル陰謀及ヒ殘忍ノ行爲ハ廣ク之ヲ世界ニ宣布シテ國人ノ覺醒ヲ促カスト共ニ世界各國ノ注意ヲ喚起

8 1.1.1.0-7 1159

0469

スルヲ要ス、更ニ根本的工作トシテハ吾人自ラ眞劍ニ自己ノ職責ニ對シ努力シ外人カ常ニ嘲笑スル「五分間ノ熱心」ニ終ルカ如キコト無キヲ注意スルヲ要ス、常ニ全國民衆カ眞劍ニシテ責任感アル精神ヲ以テ共ニ奮起セハ外交モ自ラ有效ナル方策ヲ得ルニ至ルヘシ。中國ニ於テハ何等外交上ノ事件發生スル毎ニ常ニ憤慨ノ余リ「打倒……」「打倒帝國主義」等ハ絶叫スルヲ例トスルモ斯ノ如キハ抽象的言葉ニ過キス如何ニシテ之ヲ打倒スヘキカヲ研究シ之ヲ實行スルニ非レハ敵人ヲ打倒スル事能ハス、吾人カ現在日本帝國主義ヲ打倒セントシテ先ツ各個人ノ學問技術体格等種々ノ方面ヨリ果シテ能ク一個ノ日本人ヲ打倒シ得ルヤヲ考フルヲ要ス。果シテ打倒シ得ハ之ヲ打倒スヘク若シ打倒シ得サレハ紙上或ハ口先ノ打倒ニ終リ何等ノ利益スル處ナカルヘシ。

8 1.1.1.0-7

1160

0470

受信人名

✓ 商工省 ✓ 由島次官

✓ 大藏省 ✓ 河田次官

✓ 農林省 ✓ 松村次官

✓ 逓信省 ✓ 大橋次官

✓ 日本商工會議所會頭男爵郷

誠之助

✓ 東京

✓ 大阪

✓ 横濱

✓ 名古屋

✓ 神戸

✓ 稻畑 勝太郎

✓ 井坂 孝

✓ 伊藤次郎左衛門

✓ 岡崎 忠雄

✓ 函館商工會議所會頭

坂本 作平

大阪在華紡績同業會々長

武居 綾藏

大阪大日本紡績聯合會々長

阿部 房次郎

東京糖業聯合會々長

武智 直道

宛各通

S 1.1.1.0-7

1171

0474

S 1.1.1.0-7

1170

0473

曰今回ノ排貨ニ對シ華商側ハ所謂自發永續的排貨ヲ標語トセルカ排
貨關係者ノ洩ラス慮ニ依レハ其眞意ハ黨部學生労働者等商人以外ハ
非日家ヲ破滅シ專斷ノ推移ヲ見適當ニ工業原料燃料及必需品ニ付何
等カ融通ノ途ヲ講シ損害ヲ軽減シ奢侈品乃至競争關係品ニ對シ永久
的絶對不買ヲ實行セントスルニアルモノノ如ク又對本邦輸出品ニ付
テハ未タ何等取極ナク極メテ打算的態度ヲ示シ居リ從テ前記排貨ニ
際シ兎角ノ弊害ヲ熾セシ救國基金徵收ノ如キ目下ノ處問題トナリ居
ラス且検査員モ各同業團體ヨリ夫々選任スルコトナリ居レハ表面
進行涉ラサルモ其組織進行ト共ニ與地又之ニ倣ヒジリジリ深刻化ス
ルモノト觀測セラル。

6 1.1.1.0-7 1174

0476

隨送附言
附屬物除別紙外

22

亞細亞局

普通第八四三號

昭和六年七月三十日

在漢口

總領事 坂根 準

郵務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

萬寶山事件ニ關スル排日的畫報送付ノ件

本月二十三日發行ノ武漢日報ハ附録トシテ別添ノ如キ「畫刊」ヲ刊
行シテ排日宣傳ヲ爲セルニ付何等御參考迄關係ノ部分ヲ朱筆ヲ以テ
表示ノ上送付ス

在漢口日本總領事館 B1

別紙添付

昭和六年八月拾九日

6.8.20

8.26

0477

本信寫送付先。

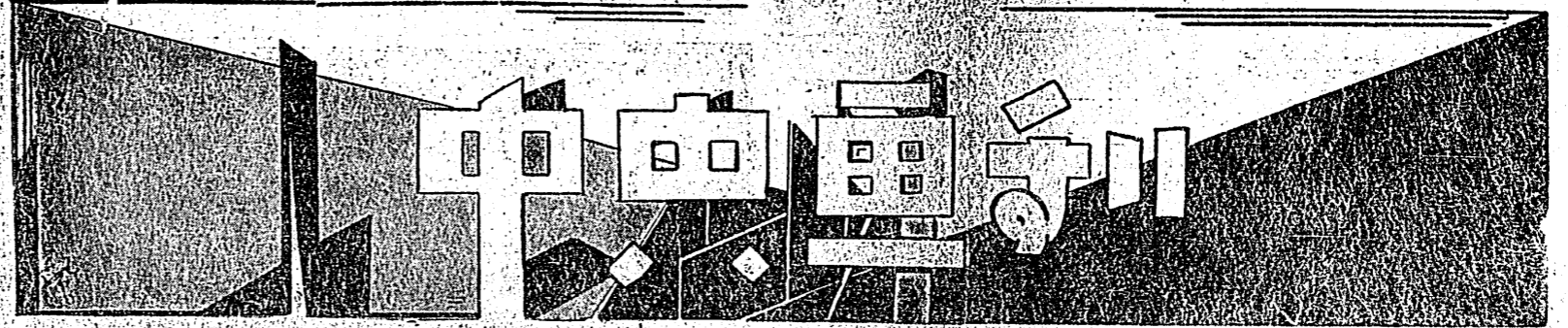
代理公使、北平、上海、奉天、哈爾濱、吉林。
天津、濟南、南京、長春。

(別添画刊ハ本館ニ添付)

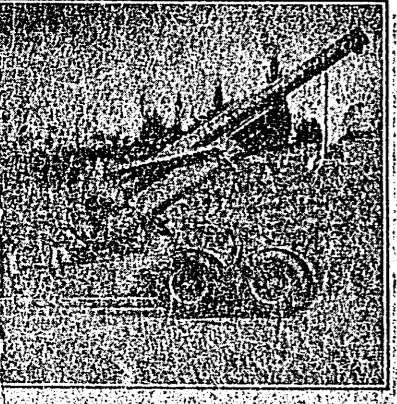
在漢口日本帝國總領事館

B11

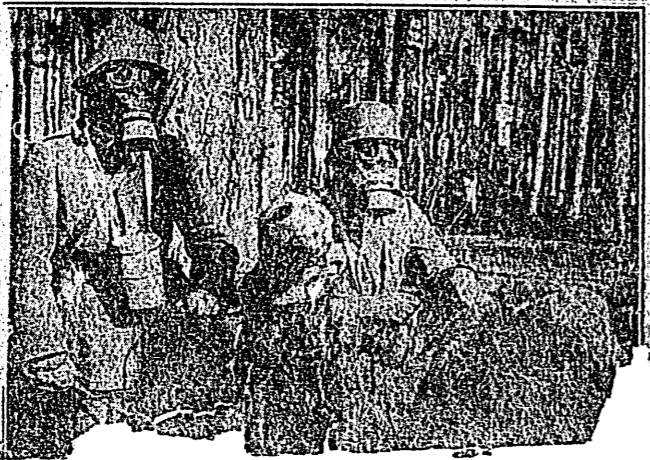
0478



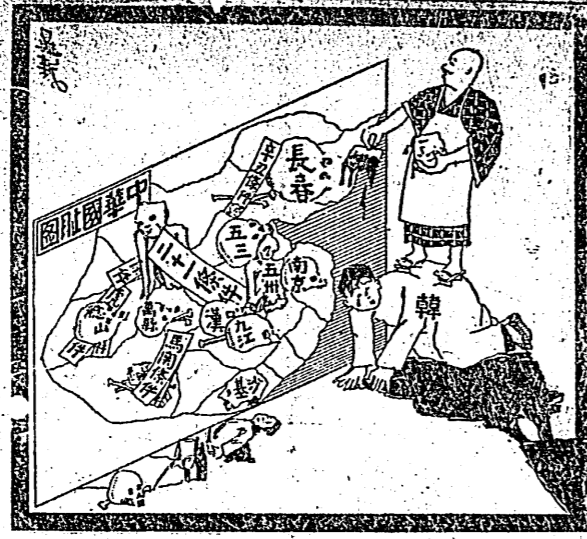
中華民國二十七年七月廿三日出版 中央宣傳部編印



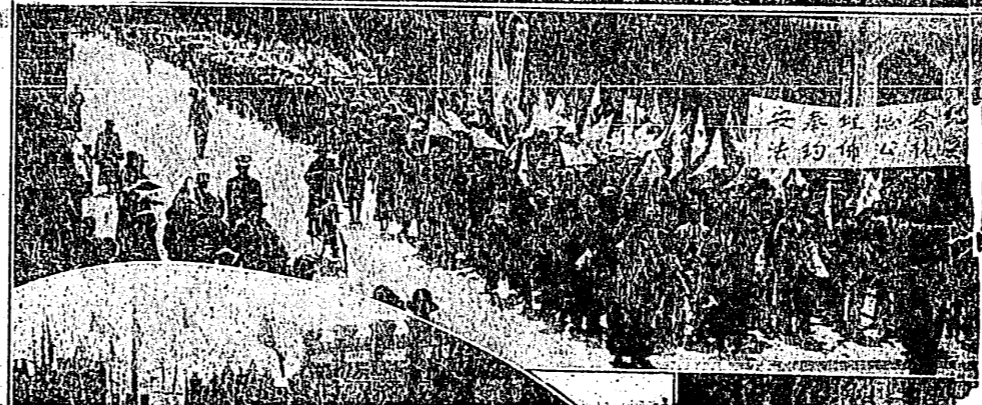
大砲之面具氣將避得



尼地最出由十七日自民步... 持能最而最顯績成國中... 上云功其未竟之進以... 影之語踐路又梁版術藝... 黃英揮



他說：這幅地圖的東北角上還缺少一些血色呢！待我來給它加上一些吧！

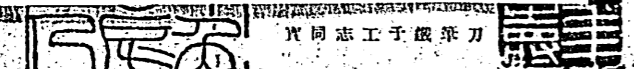


他們的口號是：—— 到滿蒙去

【黑龍江省】於總理奉安及約法公佈日舉行盛大之慶祝會，全市民眾莫不踴躍參加，顯在烈日之下不減其熱烈。下圖為到會參加學生之一班。左為參加遊行之民衆團體。左下為參加遊行之婦女團體。



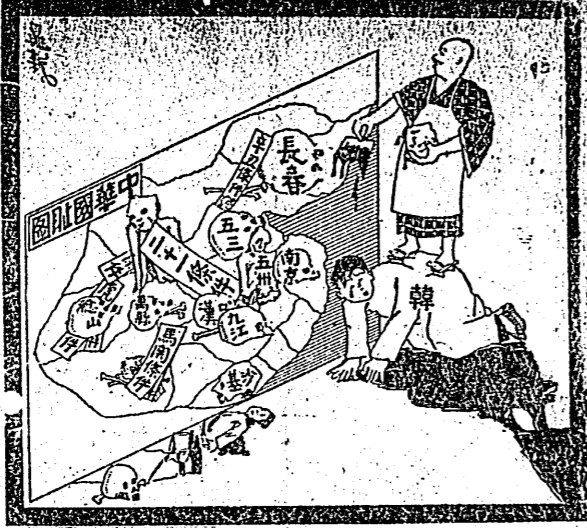
REEL No. A-0059



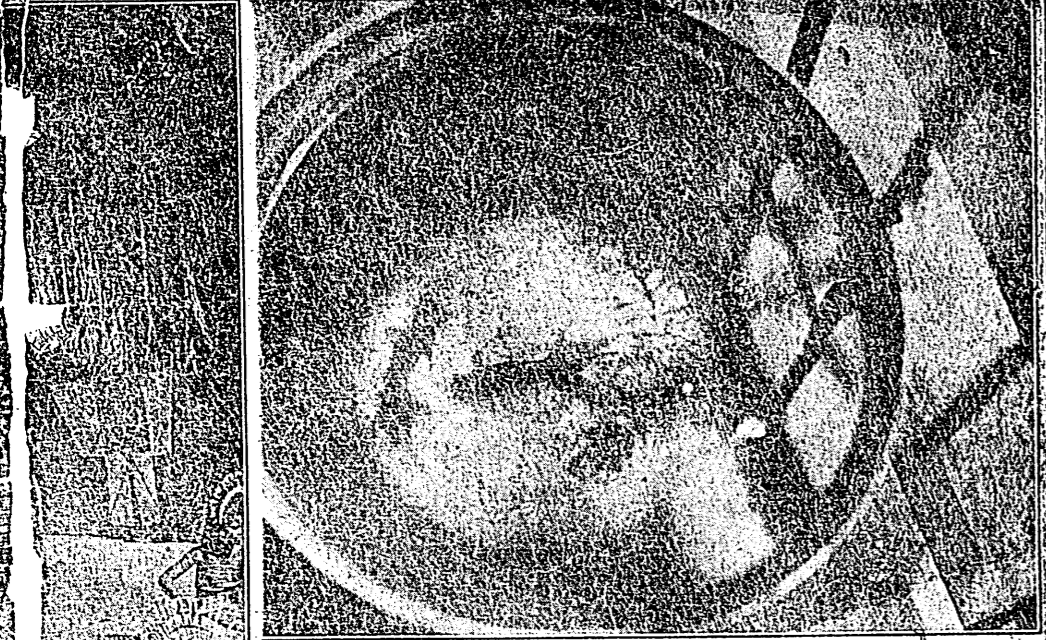
アジア歴史資料センター



圖人開影
上云話之
能持功之
最顯其未
最著竟之
成就以竟
自中成以
民自中成
十七中成
由自中成
步自中成
少自中成
行自中成
團自中成
宣傳處
黃英 攝



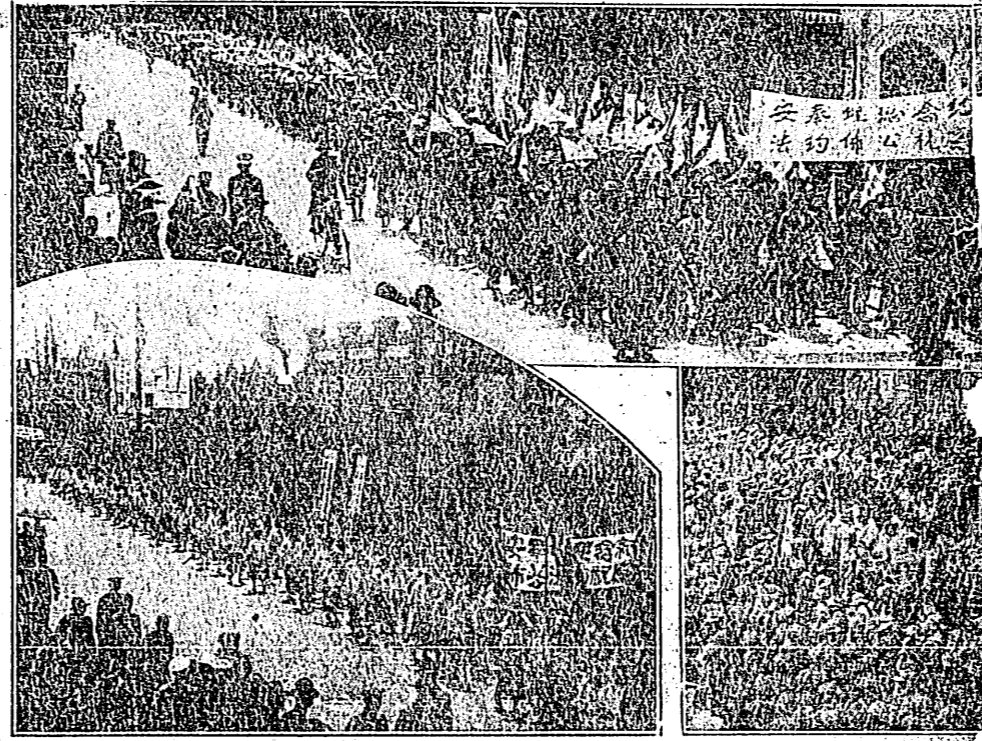
他說：這幅地圖的東北角上還缺少一些血色，待我來給它加上一些吧！



侯君石年係木滿忠
實同志工于鐵洋刀
法貴勁茲將其著作
四方刊登本報以鑒
同好

（上） 四 報 與 直 線
志 會 攝

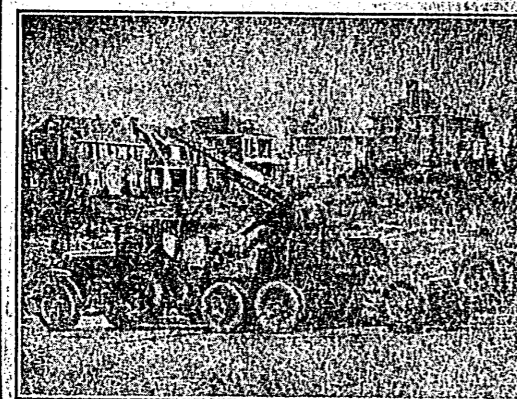
宗教 禮 節



他們的口號是：——
到滿蒙去

黑龍江省 於此理奉安及新法公佈日舉行盛大之慶祝會，全市民衆莫不到場參加，雖在炎日之下不減其熱烈。下圖爲到場參加學生之一班 左爲參加遊行之民衆團體。左下爲參加「行」之婦女團體。

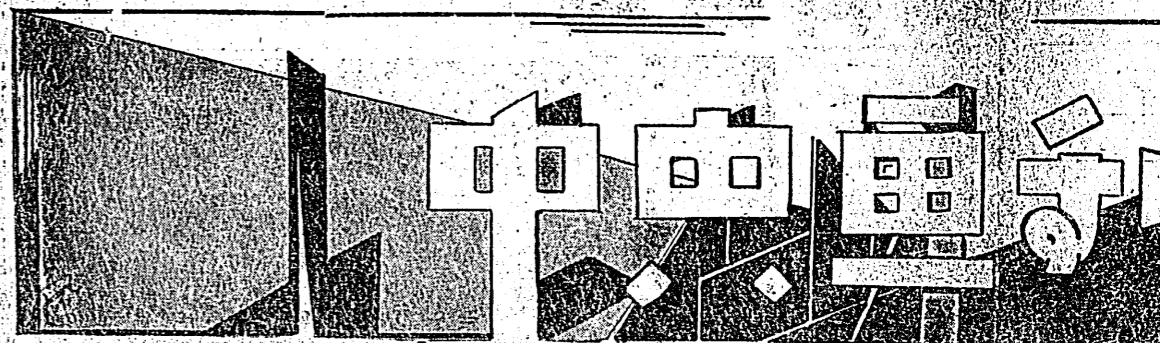
（按此影爲黑龍江省所贈以道贈通遠故至最近始行寄到）



德國最新式之八突中機



圖形遊將氣面具之願大

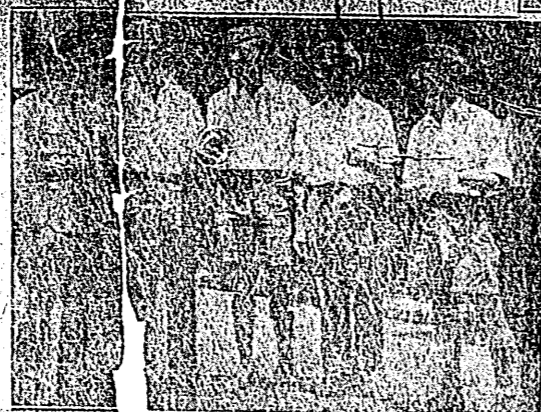


第三日〇五期

四十年七月十三日出版



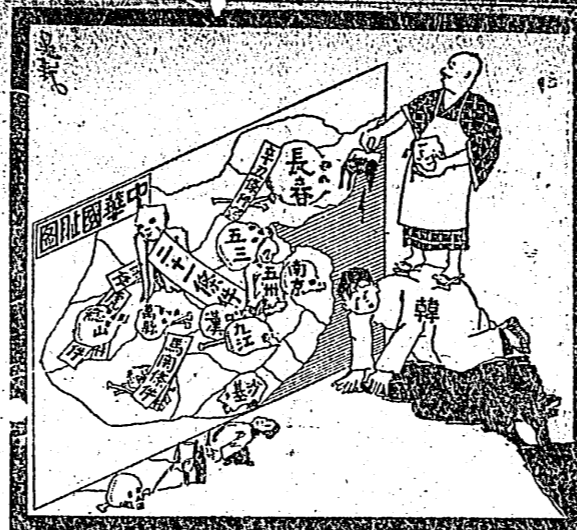
(執令致之)



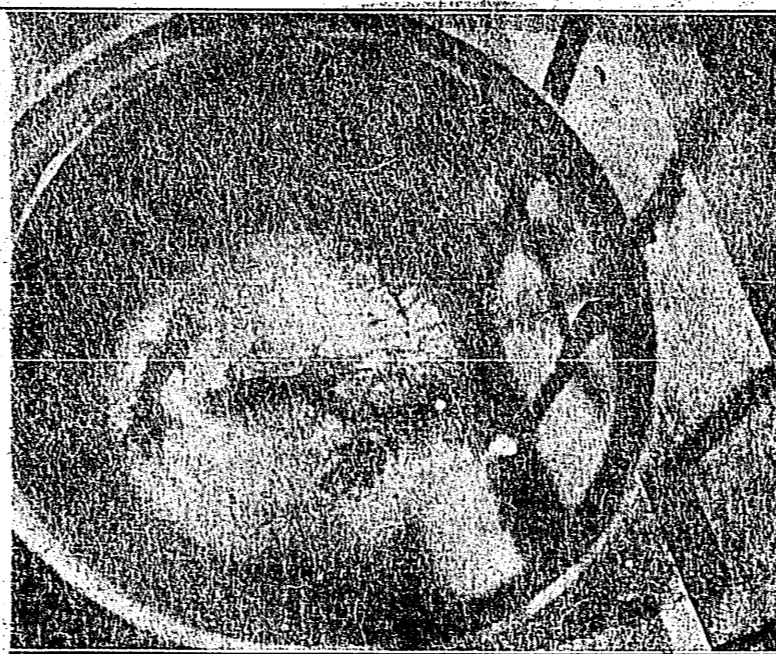
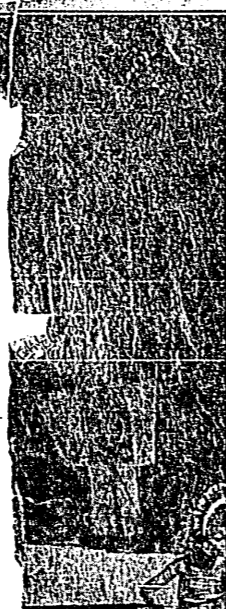
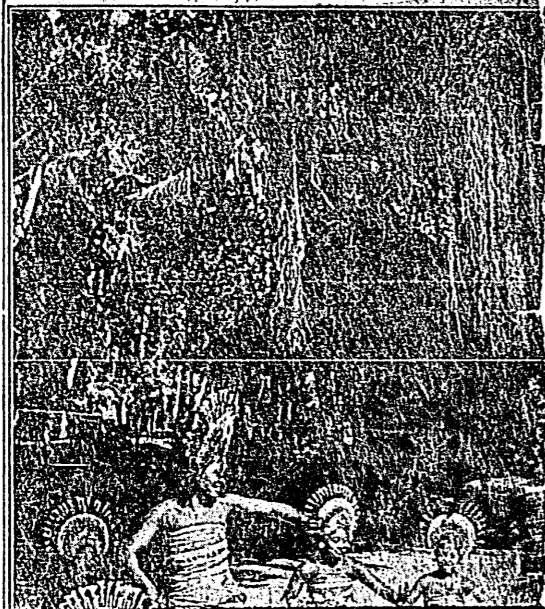
原... 十... 者... 爲...

步... 行... 團... 中... 成... 績... 最... 著... 而... 最... 能... 持... 久... 山... 漢... 前... 進... 以... 竟... 其... 未... 竟... 之... 功... 云... 上... 影... 其... 宜... 傳... 處... 甚... 衛... 嚴... 具... 梁... 又... 銘... 饒... 語... 之... 影

黃英揮



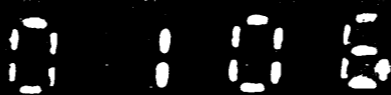
他說：這幅地圖的東北角上還缺少一些血色哩待我來給它加上一些吧！



他... 黑... 日之下不... 罪行之風... (後此影... 黑省黨部... 曾以遊... 遊故至... 給行等...)

0882

REEL No. A-0059

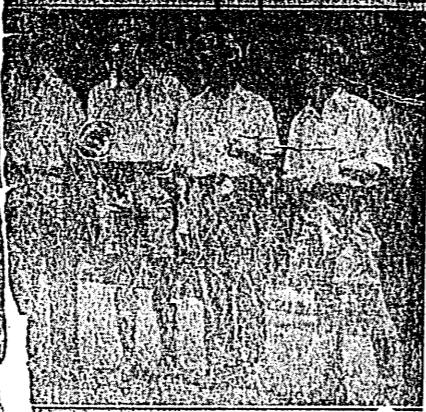


アジア歴史資料センター

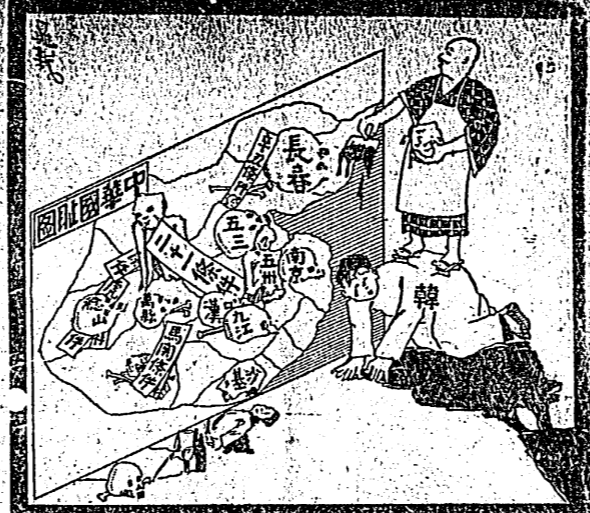


(領令致之)

頃聞
十餘
者四
為該



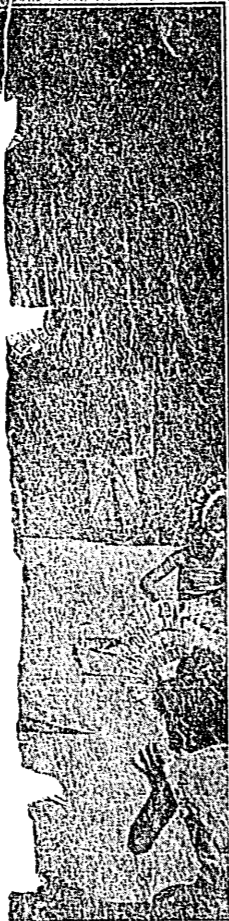
步行團自民十七由粵出這尼知
步行團中成績最顯著而最能持
步行團前池以克其未竟之功云
其宣傳處在街殿基梁又銘談話之
黃英撰



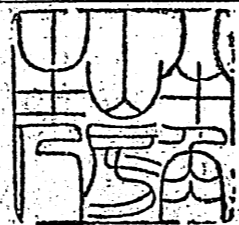
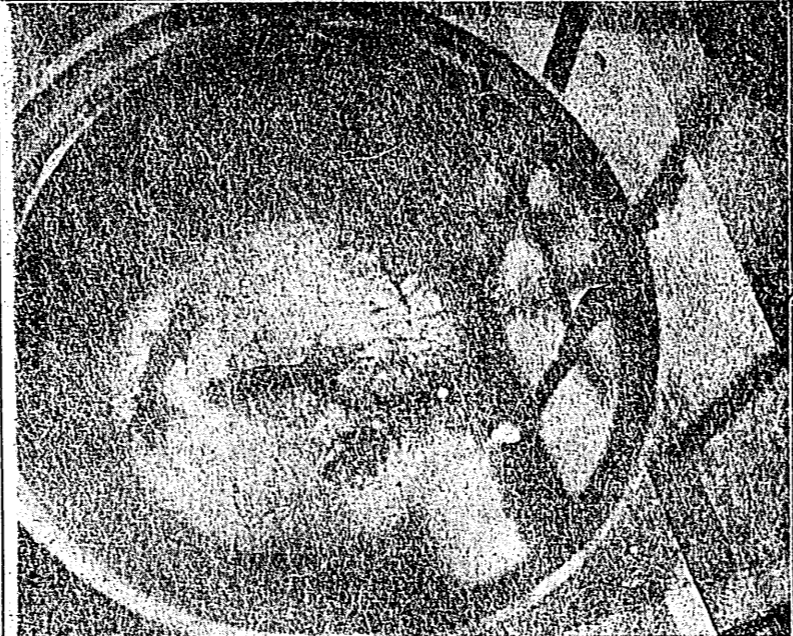
他說：這幅地圖的東北角上還缺少一些血色呢！待我來給它加上一些吧！



巴厘(Bali) (在荷屬東印度羣島
上之一種莊嚴神聖的舞蹈)



宗教禮節



侯君石年係木黨忠
實同志工于鐵筆刀
法蒼勁茲將其寄作
四方刊登本願以要
同好



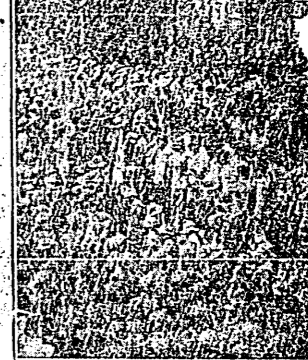
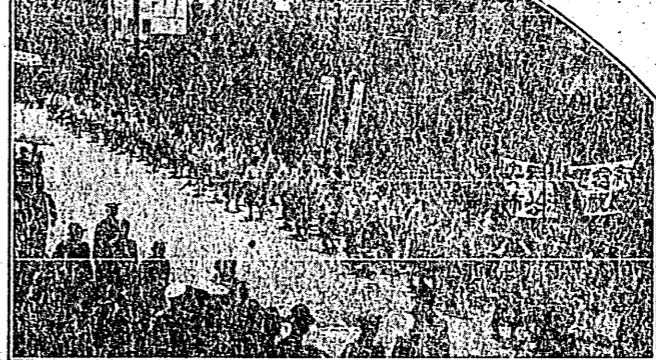
(上)
四
雜
與
直
錄
志
管
攝



他們的
到

黑龍江省

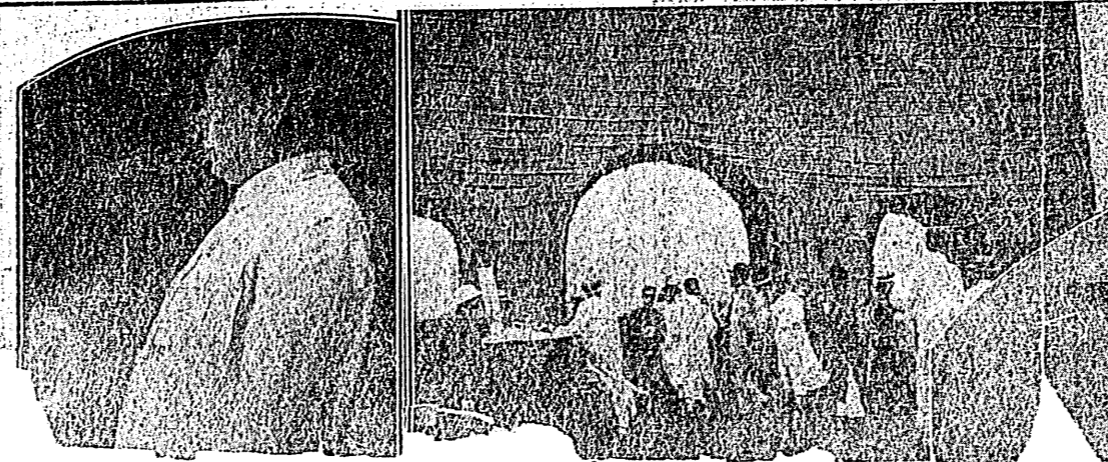
日之下不滅其熱
道行之民衆團體
(按此影為
黑省黨部所
曾以追跡述
遺故至最近
始行寄到)



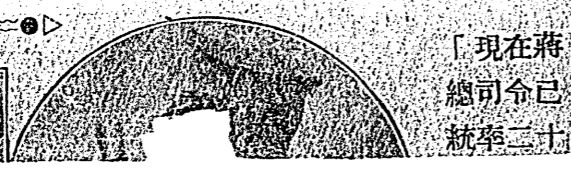
0482



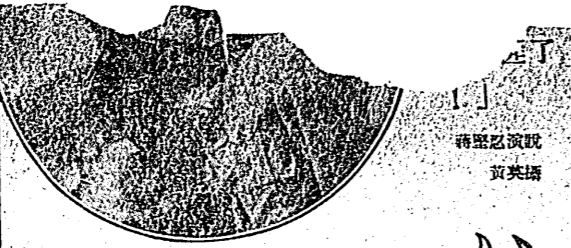
市 劇團宣傳團 總宣傳大會
於七月二日行開幕典
... 遊行 工商學婦女等
... 化妝遊行 遊行 放映革命影片
A210 (右) 大會主席團
黃英攝



左 為 會 場 入 口
之 大 門 及 簽 名
處 徐 述 之 攝
上海市政府在市中心區開
踏 建 築 新 區 於 七 日 舉 行 其 基
礎 (下) 為 市 長 親 手 扶 基 石
舉 行 其 基 礎 禮



「現在蔣
總司令已
統率二十



蔣總司令演說
黃英攝

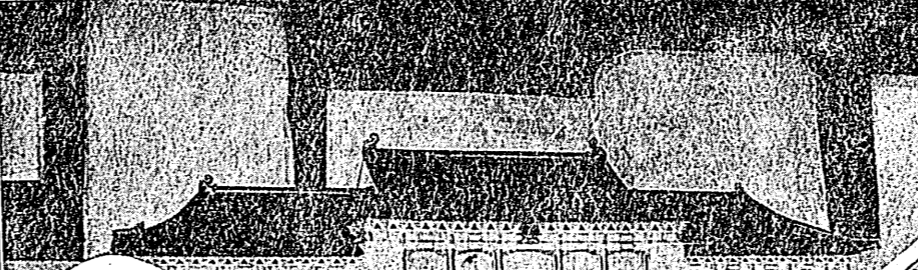
各種革命影片



(左) 化妝遊行之一幕
朱其明攝



上海市政府在市中心區開
踏 建 築 新 區 於 七 日 舉 行 其 基
礎 (下) 為 市 長 親 手 扶 基 石
舉 行 其 基 礎 禮



中委葉子民
公使 (O) 到
張市長 (X)
形 徐述之攝



左) 第六
及第一名
殷現騰
藍蕭日



右) 第三
及第一名
印家華



中委葉楚傖
第二階段
人由明攝



鎮江嬰孩健康比賽會
第一階段
林潤思

小把戲 日人的

1 嘍!
有办法了,第一步把朝鮮人移到滿洲,然後再實行第二步...

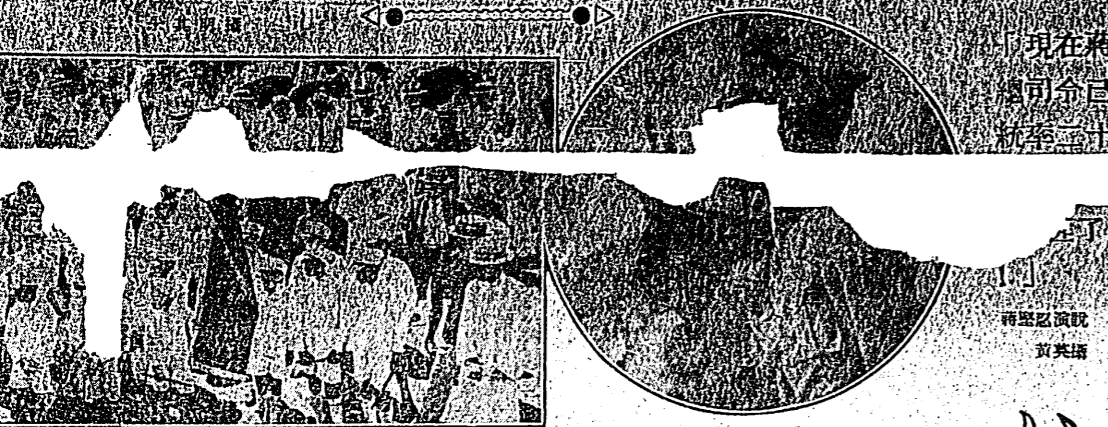
2 滿洲的,你搬到那裏去?

3 你還不中我的陰謀嗎?

4 唔,你不要再想回來了,我勸你还是放膽去,有事我可以做你後盾呢!

第三步計劃 佔領滿洲 實現了!

REEL No. A-0059



現在在革命與我

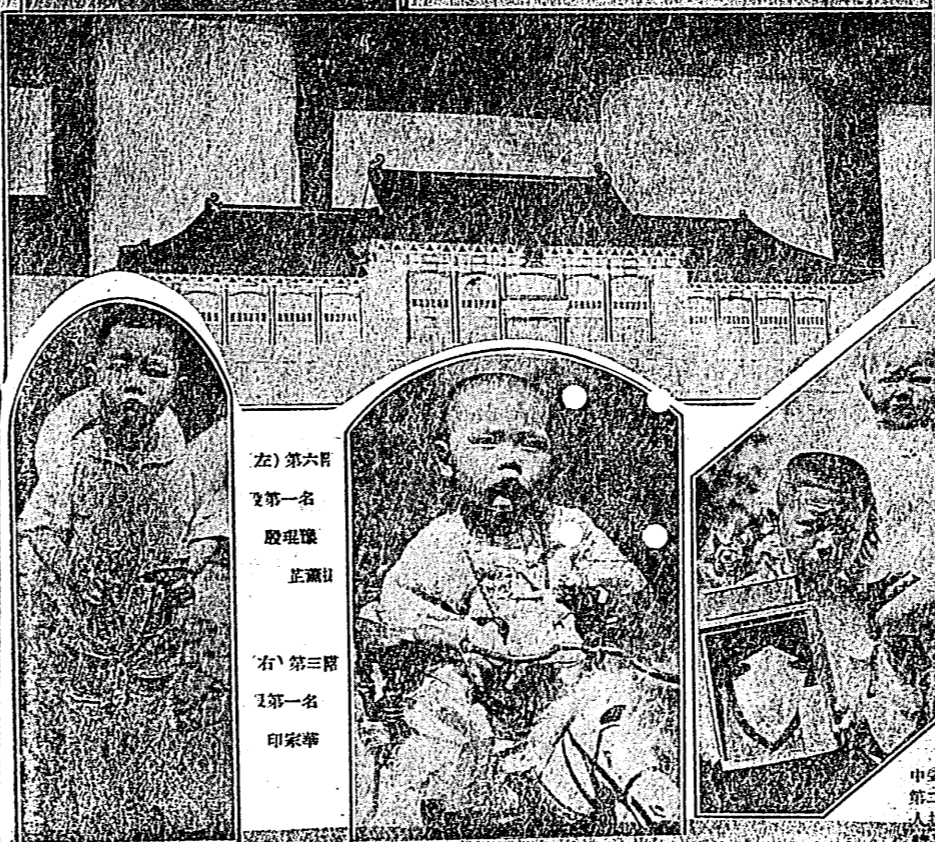
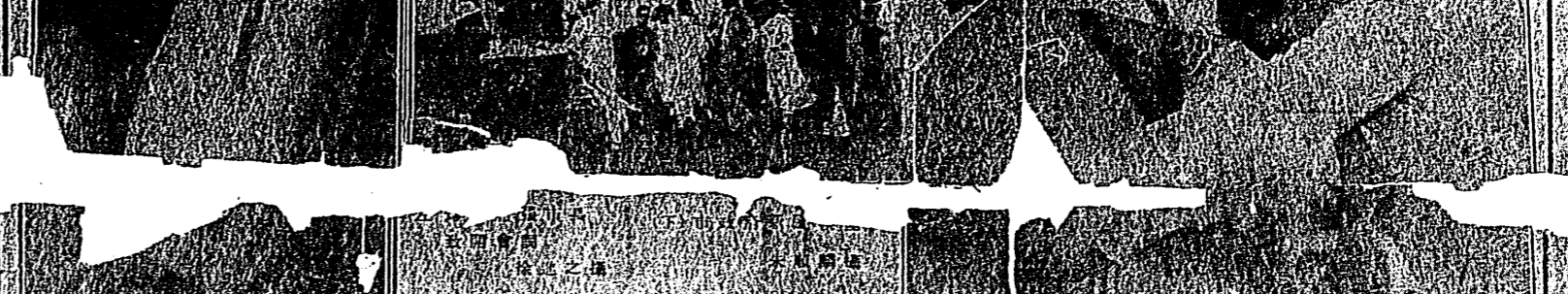
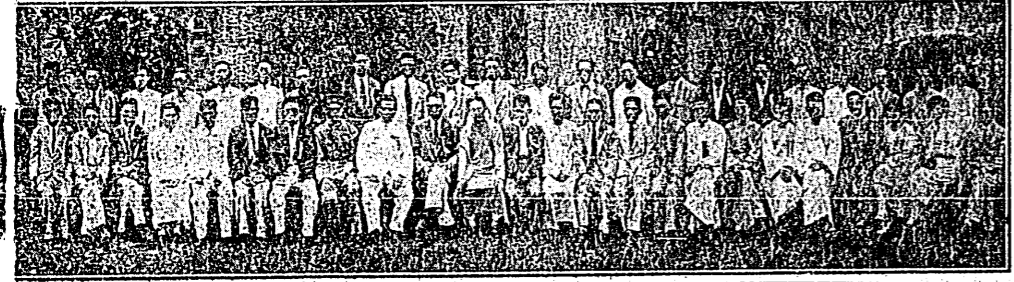
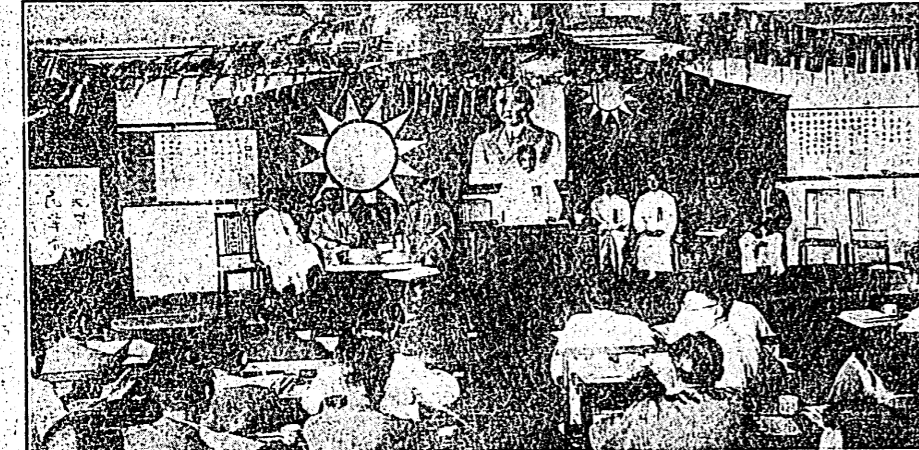
精選之演說 黃炎培



片影命革種各演公 部傳宣部黨中



(左) 化妝遊行之一幕 朱其明攝



左) 第六期
第一名
殷理傑
正滿山

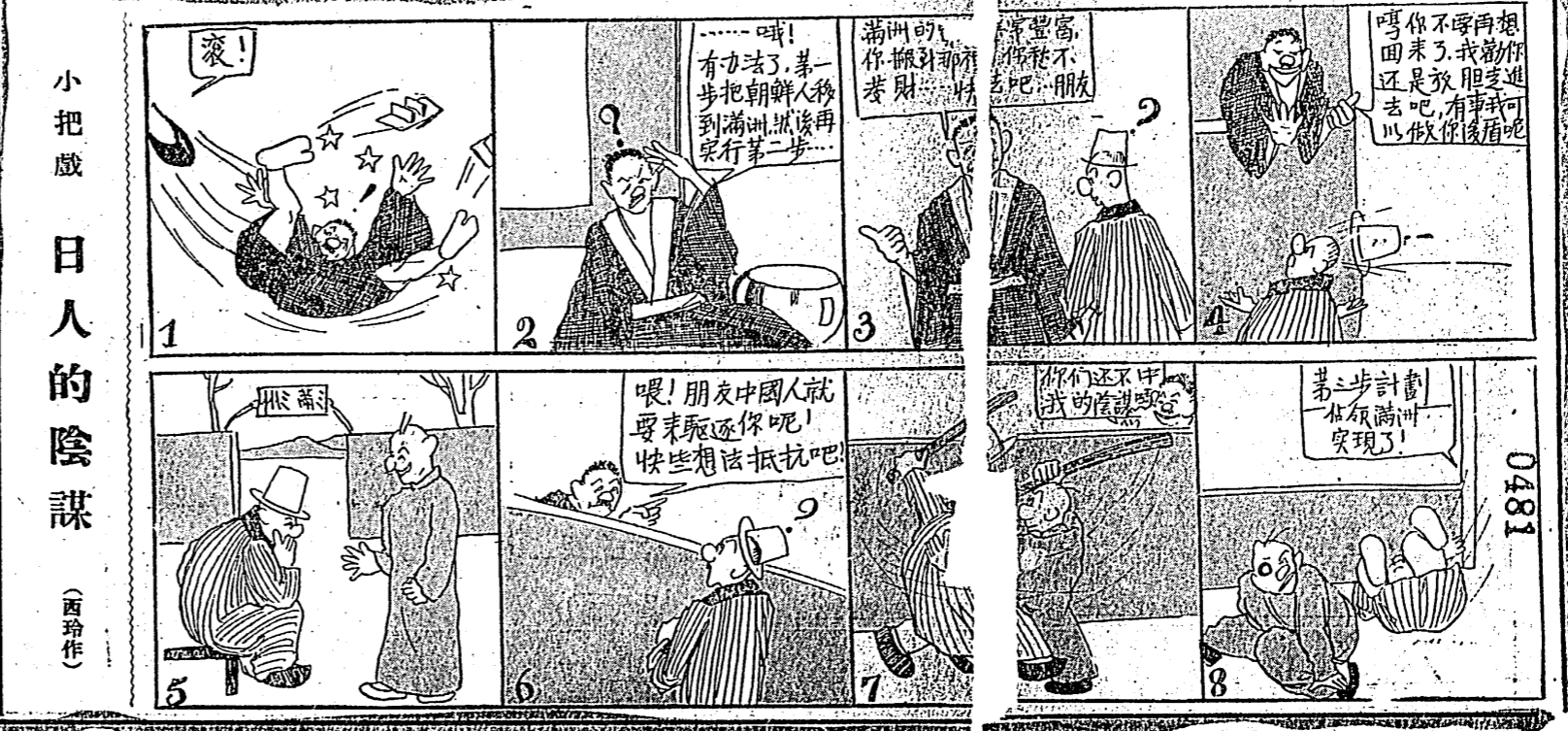
右) 第三期
第一名
印家華

中委蔡子民
公使 O 曾
眼市長 X 以
形 繪畫之精

與注
語之情
繪畫之精



鎮江嬰孩健康比賽會 林潤恩



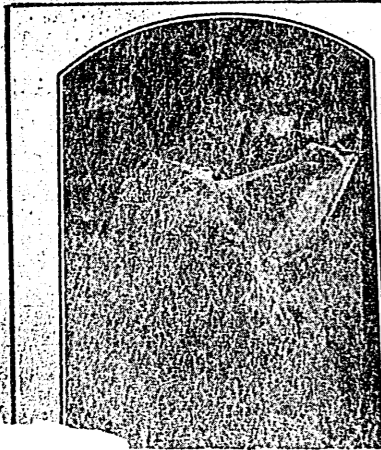
小把戲 日人的陰謀 (西玲作)

0481

REEL No. A-0059



アジア歴史資料センター

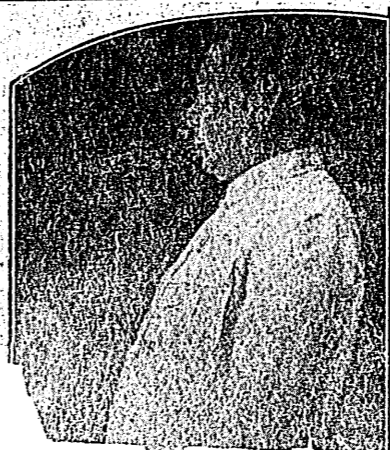


漢口市 劇團宣傳團宣傳大會 於七月二日行開幕典禮，八日閉幕，連日舉行農工商學婦女等演講，大會並有化妝演講汽車遊行，放映革命影片等項異常熱烈。(右)為大會主席團 黃英攝



(下)為開幕典禮中到會之羣衆 朱其明攝

「現在蔣總司令已統率二十萬軍隊，向武漢進發。」



中宣部宣傳團宣傳大會開幕式 朱其明攝



(左)中宣部宣傳團在漢放映影片 朱其明攝

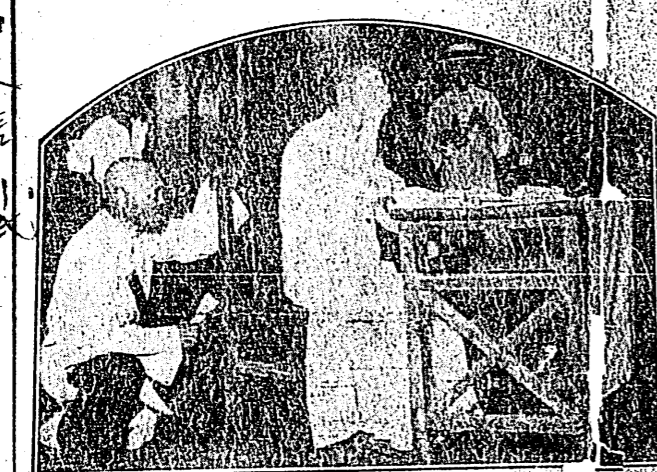
(右)中宣部宣傳團在漢放映革命影片每日影者近萬人 朱其明攝

各種革命影片公演

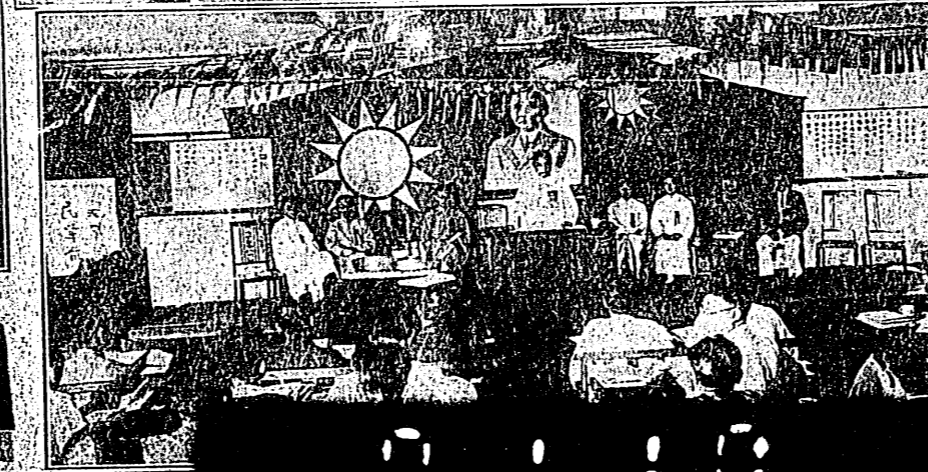


(左)化妝遊行之一幕 朱其明攝

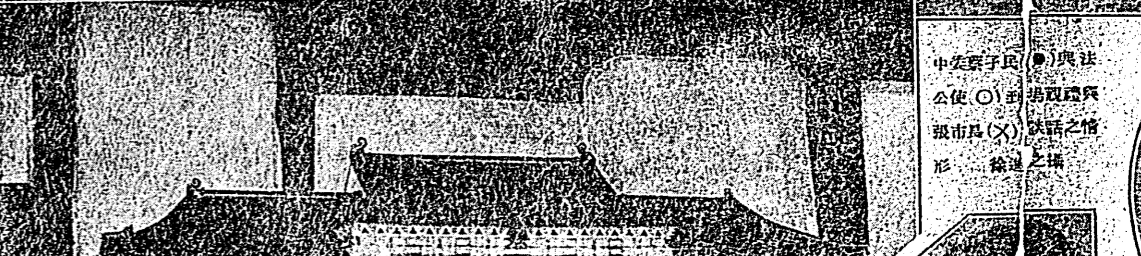
(下)化妝演藝展覽會亦匪踴躍之一幕 朱其明攝



中國國民黨上海市第七次代表大會



中宣部宣傳團宣傳大會開幕式 朱其明攝



左) 第六名 殷理傑 正滿川
右) 第三名 及第一名 印家華



小把戲 日人的陰謀

湖北省政府秘書長王八四三號漢口來信別紙

中華民國三十三年三月廿八日 漢口來信別紙



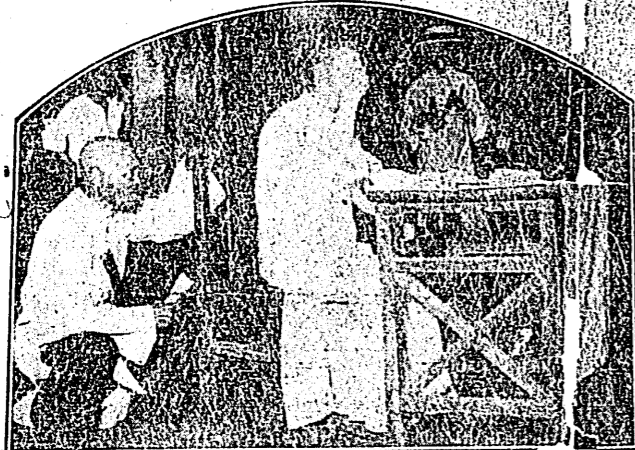
(左)中宣部特種攝影隊在場攝影
朱其明攝

(右)中宣部特種攝影隊在漢口各處攝影
朱其明攝

公演各種革命影片



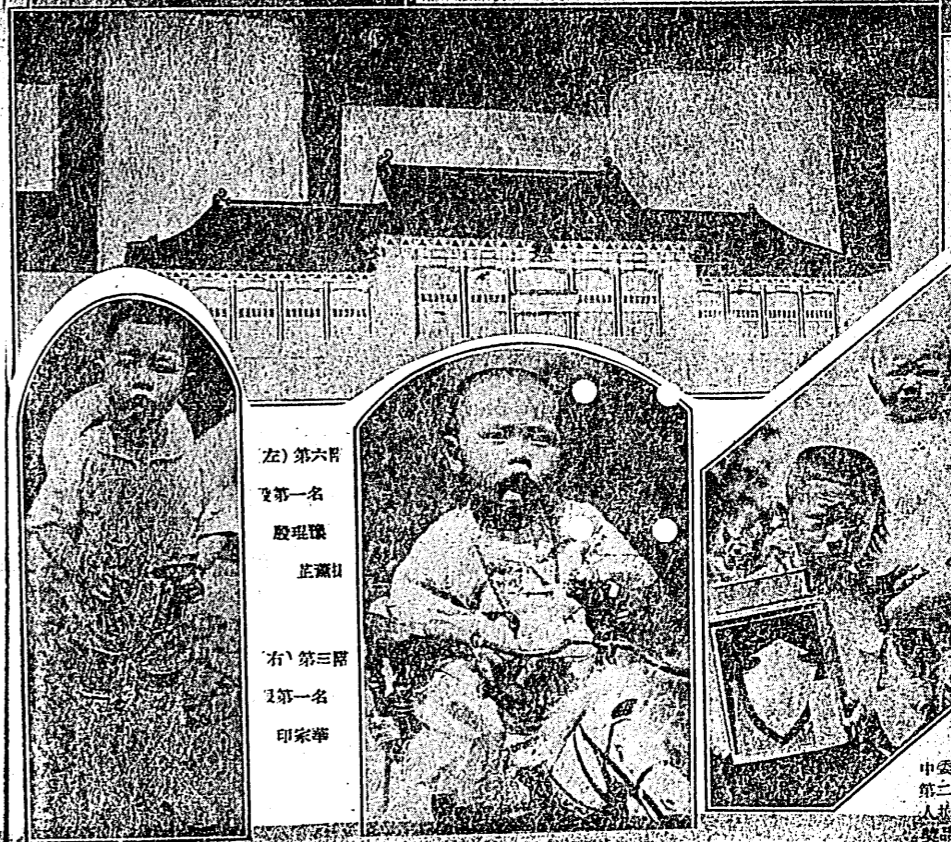
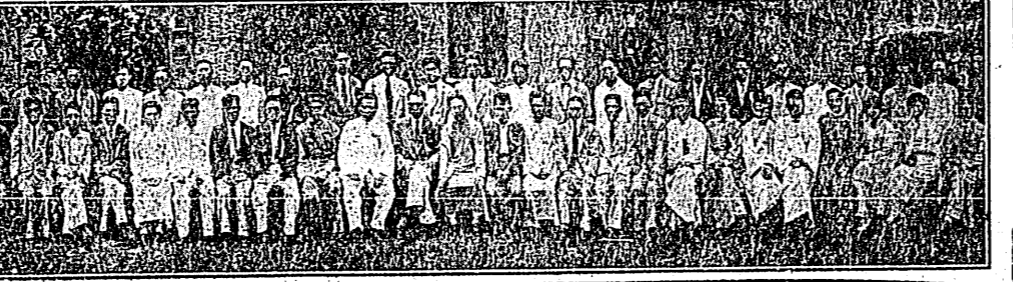
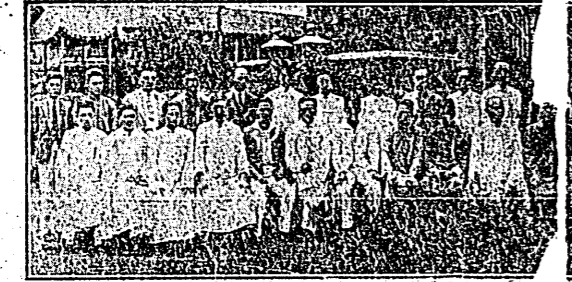
(左)化妝進行之一幕
朱其明攝



(下)化妝表演雙黃臉數赤匪匪之一幕
朱其明攝



中國國民黨上海市第七次代表大會
右圖為會場攝影
朱順麟攝

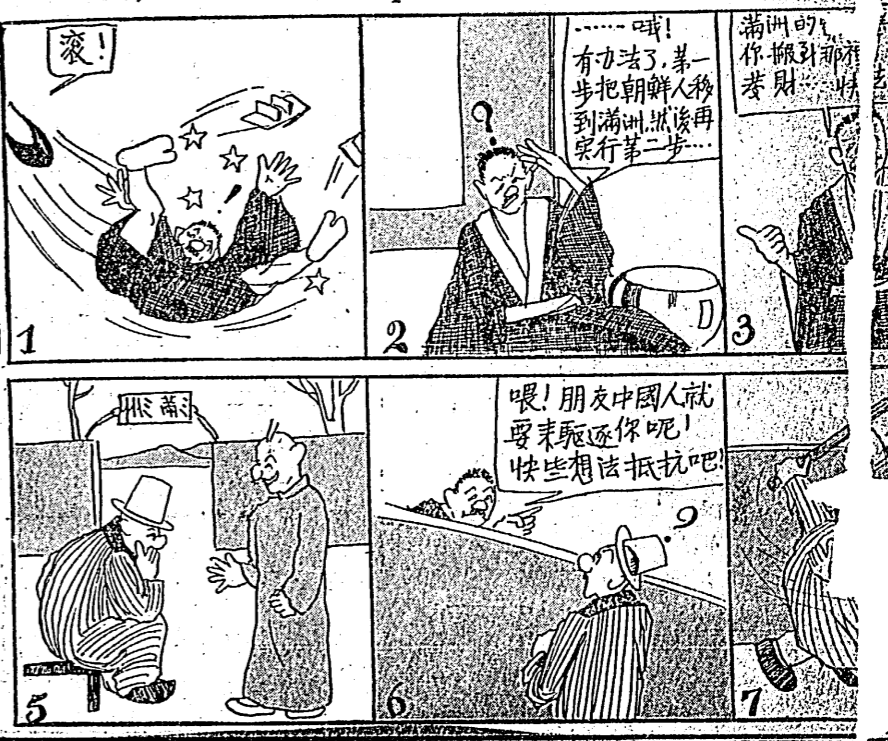


左) 第六期
及第一名
殷理傑
正滿江

右) 第三期
及第一名
印家華

小把戲 日人的陰謀

(西玲作)



中委之子民
公使(O)到
漢市民(X)
形 輪流之排

中委黨領之
第二階級第
人並此則其
英譯者何也

公子與得
國中為英夫
子立而挂
子也

你們還不用
我的首謀嗎?

28

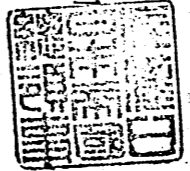
(分類 A.1.1.0.20-2)

昭和六年七月三十日

在漢口

總領事

坂根 準



外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

當地在留外國人ノ排日風潮觀竝ニ國民政府ノ
滿洲問題外交政策ニ對スル英字紙ノ評論報告
ノ件

當地在留外國人ハ一般ニ中國側今回ノ排日騒キヲ以テ兒戲ニ類スル
無分別ノ行動トナシ日貨排斥ハ望薄ナルヤニ觀察シ居ルモノノ如ク

在漢口日本總領事館 B1

昭和六年八月拾九日接受

別紙添付

0483

S. 1.1.1.0-7 1175

殊ニ最近ハ「ソーバン」事件「ドクタータツカ」事件モ起リ在留歐
米人ハ特ニ中國官憲ノ不誠意ト無力ヲ憤リ法權交渉ノ打切等ヲ叫ビ
居ル際ナルヲ以テ當地及上海ニ於ケル日貨排斥運動ニ對シテモ尠ナ
カラス義憤ヲ感シ居ル向多キ處本月二十三日發行ノ英字紙「セント
ラル・チャイナ・ポスト」ハ別紙切抜ノ如キ社説ヲ掲ケ從來ノ排
日力無頼ノ徒輩ノ強奪擄取ト一部黨部關係者ノ横領ニ依ル金儲ケニ
終レル點ヲ指摘シ國民政府カ中國全土ニ排日風潮ノ溺蔓ヲ許シタル
コト竝ニ目前ニ排貨運動行ハレ其ノ結果善良ナル商民カ暴行脅迫私
刑ニ直面シ居ルニ拘ラス國民政府カ何等法律上ノ責任ヲ感セサルカ
如キハ國民政府ノ信用ヲ低下シ法權交渉上ノ一大障礙トナルヘク列
國ノ國民政府ニ對スル心證益々惡化スヘント論シタル上鮮人ノ滿洲

在漢口日本帝國總領事館 BII

S. 1.1.1.0-7 1176

0484

REEL No. A-0059

移住問題ト鮮朝鮮ニ於ケル思想取締問題カ日本ニ執リテ如何ニ重大ナルカヲ國民政府カ体得スルコトナク是迄ノ如キ外交政策ヲ以テ進ム以上日本ハ何時カハ我慢シ切レサル迄ニ「エグザスバレート」サレ遂ニ滿洲問題ヲ導火線トシテ容易ニ收拾スヘカラサルニ大事件發生スルコトアラムトテ國民政府竝ニ中國國民ノ猛省ヲ促ス趣旨ノ論評ヲ下セルニ付當時全文ノ大意ハ電報致シ置キタルカ爲念原文別紙ノ通り送付スルニ付委細右ニ依リ御承知相成度此段拙電補足旁申進ス

本信寫送付先。

代理公使、北平、奉天、上海、哈爾濱、吉林、天津、濟南、
廣東、長春、南京、

在漢口日本帝國總領事館

BII

0485

B 1.1.1.0-7

1177

The Central China
 Post. July 29th. 1931

**PLAYING WITH
 FIRE**

It does not need much more than a glance at headlines in the inspired vernacular Press, and practically all other papers with political affiliations, for the reader to realise that the Tangpu microbe and the agitator is out to make all the capital possible from the events in Manchuria. If a boycott of Japanese goods can be brought about, the organisers will again reap a fine harvest as was the case during the last. The sale of passes under various pretexts, registration fees which permitted the clearance of a certain amount of cargo, and the downright theft of enormous quantities of piece goods from merchants who refused to submit to the outrageous squeezing of the official bureau all made a fat purse from which agitators were paid and some Tangpu officials attained wealth.

The same type of agitation is now afoot in the hope of starting another nation-wide boycott. Once again in China will be seen the sorry spectacle of a government dictated to by a crowd of hooligans, whose

only claim to distinction is an ability to shout slogans, in some instances the smattering of a foreign education, and membership of a party in which vociferous articulation is the chief asset. This type of individual was strong enough to promote and enforce a boycott on the last occasion. Will it be able to do so now? It is a question of far greater importance than appears at first sight. Certainly no appeal on the grounds of patriotism or the embarrassment of their government in negotiating, or in confining the issue to local limits would have any effect with this class of parasite. The fact that further incitement and the stirring up of hatred may involve their country in a disastrous war would not, even if they were aware of it, engender a cessation of their pernicious activity. Many of this type are firmly convinced that, given the opportunity, the Koreans to a man would turn against Japan and documents have been circulated, not in the very distant past, which advocate a nursing of the 1,000,000 Korean immigrants now in Manchuria

S 1.1.1.0-7 1178

0486

in order to use them against Japan, while the penetration of Korea proper is made by reliable propagandists.

That there are a considerable number of Korean revolutionaries none can doubt, but it is very doubtful whether they would permit themselves to be turned into cannon fodder for the sake of China, and this is the ultimate issue if Japan is exasperated beyond endurance. Some of the Koreans are, undoubtedly, violent revolutionaries, but this type would be just as revolutionary against China did it suit their book to be so. If China relies upon an ebullition of Korean feeling in her favour to help her, after agitators

have made a *casus belli* out of an incident that could have been confined to local issues, then we should aver without hesitation that they will be woefully disappointed. Japan has got very little out of Korea so far but trouble, and the history of the Korean immigration to Manchuria during the last decade and more provides ample evidence of this. Nevertheless, Japan stands for a principle and a system of government under which Korea has begun to advance. Successive Japan-

ese governments have met with the same difficulties in handling Korea as would a teacher in a penitentiary experience in teaching, forcing and finally inducing a class of loafers to work for the love of working. There is no comparison between the Korea of fifty years ago and the progressive go-head Korea of to-day under Japanese control and the great bulk of the Korean nation realises quite well the benefit that accrues from being Japanese subjects.

If left to themselves in Manchuria the immigrants, which form the excuse for the present turmoil, would quickly find their level among their far more industrious Chinese neighbours and, if left alone, there would be little likelihood of issues of the present grave kind arising. The trouble is that they are not and will not be left alone. Agitators are already at work inciting the Chinese to take reprisals against Korean settlers in Manchuria on the one hand, and another section of the same parasitical tribe are agitating as strongly as they possible can for the official declaration of a boycott against Japan. Either course is fatal. Reprisals against peaceful

S 1.1.1.0-7

1179

0487

Korean settlers in Manchuria, widely scattered as they are and numbering as they do about a million, can only lead to Japanese intervention on a very large scale. An official boycott instituted or sanctioned by the Government, and there can be no boycott unless they are weak enough to permit it, or, alternatively, they are not strong enough to prevent it, may be taken by Japan as a *casus belli* and Nanking directly brought into a quarrel from which they can gain nothing but odium and discredit.

The situation is not easy of adjustment anyhow. Depression exists in Manchuria as elsewhere and the economic question between immigrants and residents engaged in the

same occupation is bound to be acute. But its solution will not be arrived at by fighting nor will agitation against Japan in any way benefit either Chinese or Koreans engaged in the present squabble. The only people likely to benefit are the Bolsheviks and they may be expected to take every advantage of the efforts of the Chinese to ruin themselves at the bidding of wily agitators who gain their livelihood by fishing in troubled waters. There are statesmen on both sides and it is time they got together in an effort to settle peacefully a problem now bristling with the possibilities of war. If, as a first measure, they gaol in both countries every advocate of violence and every agitator, they will have taken a big stride towards a peaceful solution. In particular, we would recommend Chinese official attention to the boycott bugs.

S 1.1.1.0-7 1180

0488